

友だちも思い出もいっぱい



▲みんなで一緒に記念撮影

私が、すいせん交流で一番うれしかったことは、牧小学校の子に名札を付けてもらった時、笑顔で自己紹介をしてくれたり、「友だちになろうね」と声をかけてくれたりしたことです。私も「よろしくお願ひします」と笑顔で話すことができました。牧小学校の先生方や5年生の保護者の皆さん、お世話になった皆さん、そして、牧小学校の皆さんも笑顔で迎えてくれたり、あいさつをしてくれたりして、とても勇気がわいてきて、友だちがたくさんできました。皆さんのおかげで、とてもよい思い出と絆が生まれました。

私たちが元気をもらったり、勇気づけられたりしたので、次は越廼小学校に牧小学校の皆さんが来られたときには、お返しができるよう笑顔でお迎えしたいと思います。そして、男女関係なく、友だちをたくさん作れるような企画をしていきたいと思っています。



安八町の皆さんの笑顔

越廼小学校 5年生

山森 瀬波 やまもり せなみ



仲良くなったよ、

すいせん交流

牧小学校 5年生

金森 うるは かなもり

すいせん交流イン安八の思い出は、二つあります。

一つ目は、木曽三川公園で、越廼小の女の子と一緒に、鬼ごっこをして遊んだことです。なぜかというところ、出会ってすぐだったけれど、越廼小の女の子と、仲が深まるチャンスだったからです。一緒に遊んだので、楽しかったし、たくさん話せるようになりました。

二つ目は、最後のお楽しみ会とお別れ会です。お楽しみ会での遊びのけいごは、越廼小の子と協力して、牢屋にいる友だちを助けることができました。また、ドッジボールでは、越廼小の子にボールをゆずったり、一緒に逃げたりして、とても楽しかったです。お別れ会では、「二泊三日、ありがたございました。楽しかったです。」と言って、心を込めてプレゼントを渡しました。

越廼小の子全員と、ハイタッチをしてお別れをしました。運動場の端まで走って、バスが見えなくなるまで、手を振り続けました。お別れはさみしかったけれど、また7月に会えるので楽しみです。